

2023年4月始動！新設プログラム！

社会で求められているデータ分析能力



企業で



国や自治体で



世界で

社会の情報化の進展により、容易にビッグデータを入手・分析できる環境が整いつつあります。多くの企業でデータ分析をもとにした戦略策定が重視されています。たとえば、AmazonをはじめとするIT企業は、顧客の購買履歴や商品検索時のデータを解析して、次のマーケティング戦略に活用しています。

データ分析を通じた客観的な証拠（エビデンス）をもとに政策を創り出すEBPM（Evidence-Based Policy Making）に注目が集まっています。国民や住民が納めた税収を無駄なく使うためには、国や自治体において、データ活用による政策立案能力や、政策提言能力が求められています。

2019年のノーベル経済学賞は、途上国での貧困解消を目的とした政策の効果を確かめるために、データにもとづいた分析を行った研究に与えられました。近年、データ分析にもとづく経済学の分野である「実証経済学」が注目されており、データ分析が様々な経済学の応用分野に適用され、多くの成果が報告されています。

PBL × データ分析 課題解決型データ分析プログラム

課題解決型データ分析プログラムとは、2023年度始動の経済学部の新設プログラムです。

入門から発展まで段階別の授業を通して、金融・財政・福祉・労働・産業・地域などの分野の課題を発見し、データ分析で解決策を探り、提言できる能力を育てます。

1年 経済データ分析入門

入門レベル

- オープンデータを知る。
- 統計データの基本事項・読み方を学ぶ。
- 統計ソフトウェアRを知る。

2年 PBLデータ分析

応用レベル

- 具体的な課題を発見し、データによる分析を行う。
- 課題に対して解決策（政策）を探索し、提言する。
- 金融・財政・福祉・労働・産業・地域などの分野から、自身の関心に合わせて複数の授業を選択できる。

3年 Rによるデータ分析

発展レベル

- 統計学習の指導のための補助教材として、総務省統計局がExcelと並んで挙げている統計分析ソフトウェア「R」を使ってより高度なデータ分析を行う。

※「R」は、データ分析に適したソフトウェアです。統計解析だけでなく、グラフィック分野も得意なプログラミング言語です。

AIなどの機械学習にも使われるが多く、「R」を導入する企業、「R」を学習する人が増加しています。